

都市再生整備計画 事後評価シート
金沢城北地区

平成22年12月

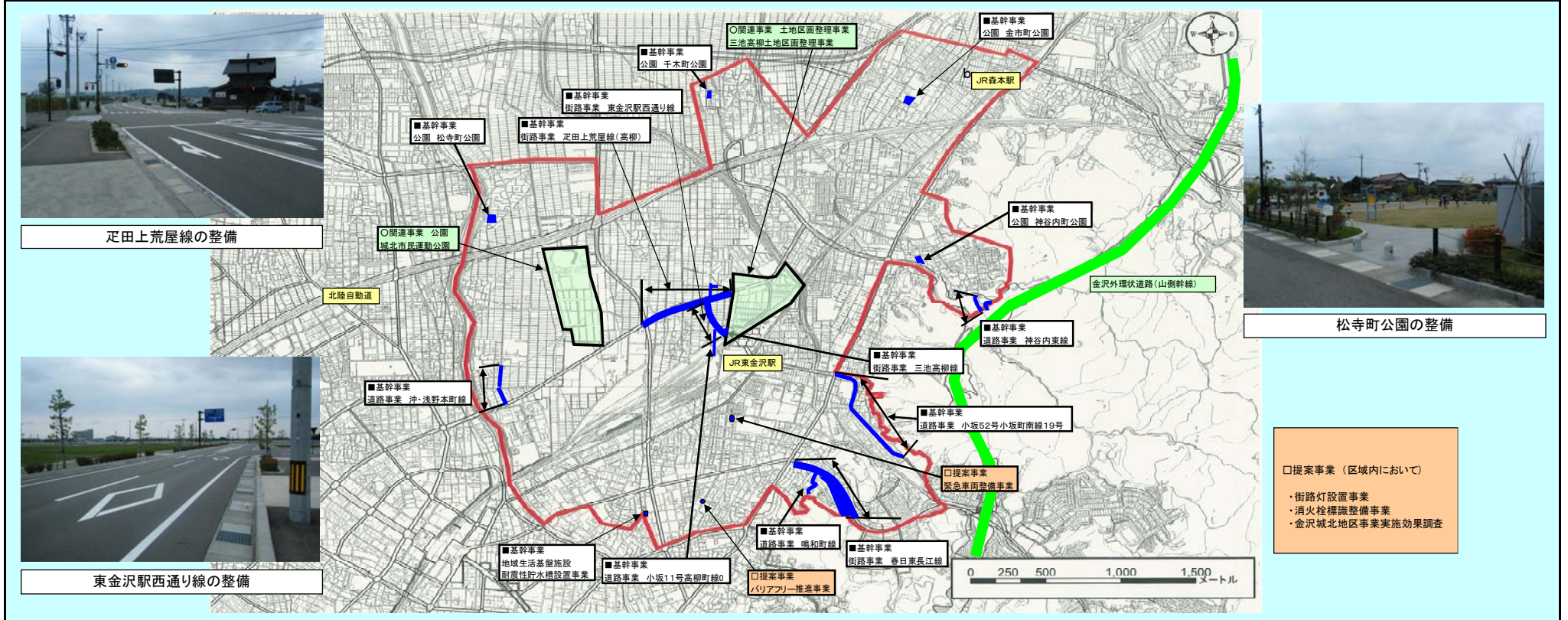
石川県金沢市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県	市町村名	金沢市	地区名	金沢城北地区			面積	935ha				
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	1,895百万円	国費率	0.412						
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路：足田上荒屋線(高柳)、東金沢駅西通り線、三池高柳線、小坂11号高柳町線、春日東長江線、神谷内東線、鳴和町線、沖・浅野本町線 公園：神谷内町公園、松寺町公園、金市町公園、千木町公園 地域生活基盤施設：耐震性貯水槽設置事業										
		提案事業	地域創造支援：街路灯設置事業、消火栓標識整備事業、バリアフリー推進事業、緊急車両整備事業 事業活用調査：金沢城北地区事業実施効果調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	削除/追加の理由						削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	なし	-						-			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路：小坂52号小坂町南線19号4連区線	交通事故等の交通障害を抑制し、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進を図るため追加。						交通渋滞緩和の指標に関係するが、数値目標は据え置く。			
提案事業		なし	-						-				
交付期間の変更	当初	平成18年度から平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						なし				
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	区域内人口の増加	人	13,879	H17	14,500	H22	モニタリング	評価値	△	あり	● 幹線道路の整備による中心市街地との連絡強化や公園整備、土地区画整理事業等の実施によって住宅地としての魅力向上が図られたことにより、区域内人口が近年、徐々に増加しつつあるものと考えられる。	平成23年5月
	指標2	駅利用者数の増加(JR東金沢駅)	人/年	568,998	H16	588,000	H22	-	701,200	○	あり	● 足田上荒屋線など主要な道路の整備が完了したことにより、駅へのアクセシビリティが向上したこと、また、関連事業である土地区画整理事業の進展によって、駅利用者数が増加したものと考えられる。	平成23年6月
	指標3	駅利用者数の増加(JR森本駅)	人/年	585,921	H16	592,000	H22	-	564,200	×	あり	● 森本駅東広場整備が事業化に至らず、駅利用者増加に直接影響する事業が少なかったこと、金沢外環状道路(山側幹線)などの整備により、道路環境が改善されたことが要因と考えられる。	平成23年6月
	指標4	交通渋滞の緩和	台数/12h(平日)	20,714	H11	18,600	H22	-	15,821	○	あり	● 春日東長江線など金沢外環状道路と市街地との連絡強化が図られる道路や足田上荒屋線の整備が完了したことにより、通過交通がソフトし、国道359号の交通混雑の緩和に寄与したものと考えられる。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	公園誘致範囲カバー率	%	41.9	H17			-	48.8			● 神谷内町公園や千木町公園などの整備によって地区内の公園誘致カバー率が向上し、豊かで住みやすいまちづくりが促進された。	-
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	市民提案型で公園のレイアウトや植栽・遊具等の施設、名称などに市民の意見を反映させたことにより、公園への愛着が生まれ、利用促進や愛護活動につながるなど、官民協働による維持管理体制の構築が図られた。また、オストメイト協会との協議や意見交換などを通じて市民の意見を把握することで、円滑な事業の推進と施設の利便性向上が図られた。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-			
	住民参加プロセス	オストメイト協会との打ち合わせ会【障害福祉課】 地元説明会の開催【緑と花の課】		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 関係団体との協議や意見交換などを通じて市民の意見を把握し、円滑な事業の推進と施設の利便性向上を図る。 ● 市民が利用しやすい公園として維持管理を進める。			
	持続的なまちづくり体制の構築	公園愛護活動の実施【緑と花の課】		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 継続的に公園愛護の実施を進め、官民協働の公園管理体制の構築を図る。			

様式2-2 地区の概要

金沢城北地区(石川県金沢市) まちづくり交付金の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
交通環境改善と安全で安心な住みよいまちづくり 目標1 交通の円滑化 目標2 安全で快適な環境整備 目標3 良好な住環境の整備	区域内人口の増加	単位:人	13,879	H17	14,500	H22	14,400	H22
	駅利用者数の増加(JR東金沢駅)	単位:人/年	568,998	H16	588,000	H22	701,200	H22
	駅利用者数の増加(JR森本駅)	単位:人/年	585,921	H16	592,000	H22	564,200	H22
	交通渋滞の緩和	単位:台/12h	20,714	H11	18,600	H22	15,821	H22
	公園誘致範囲カバー率	単位:%	41.9	H17			48.8	H22



まちの課題の変化

- ・都心部との円滑なアクセスや環状道路網の相互連絡によるスムーズな交通の確保が課題であったが、足田上荒屋線や春日東長江線等の整備により、環状道路網へのアクセス経路が確立され、交通の流れが円滑化された。
- ・歩行者が安心して歩ける道路幅員の確保や防犯性の向上が課題であったが、沖・浅野本町線の拡幅整備による金沢社会保険病院付近の歩行者の安心が実現したほか、街路灯設置により地区の防犯機能が高まった。
- ・住宅密集地における防災道路基盤の強化が課題であったが、防災道路となる神谷内東線、鳴和町線の整備によって、住宅地内の防災機能が強化された。
- ・市街地の進展に対応した良好な住環境の確保が課題であったが、神谷内町公園など市民に身近な公園の整備により、市民の憩いの場が拡大された。
- ・森本駅周辺の再整備に取り組み、森本駅の利用促進を図る必要があるほか、安心・快適な歩道や居住環境の整備を継続的に促進していく必要がある。
- ・地域活力の維持、向上に向けて、人口の定住を促進していく必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・安全安心に通行できる道路環境づくりを推進し、交通事故の発生の危険性を低減させる。
- ・JR東金沢駅及びJR森本駅のさらなる利用環境の充実を図るとともに、市民の公共交通利用意識の向上を促す。
- ・交通の利便性向上、安全、安心、快適に暮らせる魅力ある居住環境への改善、充実を図り、地域への人口定住を促進する。